

埼鍍会 だより

2015年活動テーマ 「情熱と挑戦」



会長挨拶



「情熱と挑戦」

第23代埼玉会 会長 甲斐野 嘉彦

日頃より会員・会友の皆様には、埼玉会の運営に多大なるご理解とご協力を頂きまして誠に有難うございます。昨年、第23代埼玉会会長に就任して、あっという間に1年が過ぎてしまいました。またこうして2年目を迎えさせていただけるのも皆様のご協力のおかげと感謝しております。

さて、日本の製造業はアベノミクス効果か、円安・株高の流れに乗り、大手輸出関連企業を中心に高利益を出し、今年の春闘では要求に対し満額回答の企業が大半でした。「円安だから輸出が増えて、利益が出た」一部ではそうかもしれませんが、ほとんどの企業が海外生産をし、海外販売をした利益です。また市場は、欧米・中国・東南アジアから南米・アフリカ大陸へと地球規模に膨らんでいます。このような情勢で、日本の中小企業も海外市場に向けてどんどん挑戦していかないと生き残れないとも言われます。

我々めっき業は、地場の企業を支えてきた縁の下の力持ち的存在です。多くのめっき企業は、国内で勝負していかなければならないと思います。大手が好調なのはとてもよいニュースなので、その恩恵が回ってくることを今後に期待しつつ、自力での活路を模索していく必要もありそうです。

さて昨年は「埼玉会の活動から共に成長しよう」をテーマに掲げ1年間活動して参りました。同じ志を持った仲間が、様々な活動を通じ、親睦を深め、社会人として成長していく場が埼玉会であってほしいと考えているからです。今、我々の業界は世代交代の過渡期にあり、全国的にもますます青年部の活動が注目されるでしょう。我々青年部がめっきという仕事に情熱を傾け、新しいこと挑戦し続けることが、埼玉会の目的にもある「業界の発展向上」につながり、各会員みなさんの事業発展にもつながると信じております。そんな思いもあり、本年度の活動テーマを「情熱と挑戦」とさせていただきました。本年度も、会員の皆様がたくさん刺激を感じ、情熱を持って挑戦したくなるような活動を行っていきたいと考えておりますので、積極的な参加をお願い申し上げます。

最後に会員皆様には、引き続き格段のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げますと共に、埼玉県鍍金工業組合員各位、関係団体各位に置かれましては、今年度もご迷惑をお掛けするとは思いますが、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成26年度 定期総会

平成26年6月14日(土)さいたま市大宮区の「料亭旅館新道山家」にて、埼玉鍍金の第45回定期総会が開催されました。当日は梅雨を忘れるような30℃近い猛暑の中、33名と大勢の会員にご出席いただきました。

定期総会は、司会進行 (株)小林鍍金工業 小林(直)氏、議長 潮工業(株)饗場氏により、議事進行がなされました。(株)大宮鍍金工業 出野氏の「開会の辞」により、定期総会が開催され、まずは本日で任期終了となる渡辺会長より任期中の会員各位の協力に対する感謝の意と活動の総括についてご挨拶をいただきました。続いて石田電解研磨 石田氏より定足数が問題ないことが報告された後、(株)小林鍍金工業 小林(直)氏より「平成25年度の事業報告」、続いて、(株)甲斐野テックス 甲斐野氏より「平成25年度収支決算報告」、会計監査報告は監査役を代表して、新硬クローム工業(株) 新谷氏が行い、意見、異議もなく、本件は無事承認されました。



次に、本総会をもって、現会長渡辺氏が任期満了となる為、役員改選が行われ、推薦により新会長として、(株)甲斐野テックス 甲斐野嘉彦氏が満場一致の承認を受け第23代会長に就任され、今季の活動テーマである『埼玉鍍金の活動から共に成長しよう』についてお話を頂きました。

そして、新会長より本年度の計画案へと議事が移り、(株)大倉 岡田氏より事業計画案が発表され、続いて日本ミクロ工業(株) 山本氏より本年度の予算案の上げがあり、各議をすべて満場一致で可決されました後、ご来賓いただきました埼玉県鍍金工業組合 黒澤副理事長より埼玉鍍金の先輩としてのご助言をいただきました。

精硬クローム工業(株) 田中氏による「閉会の辞」で定期総会は無事に終了し、同「料亭旅館新道山家」の宴会場にて、懇親会が開催されました。お忙しい中、ご来賓として、埼玉県鍍金工業組合から黒澤・吉田両副理事長、仁科顧問理事、会友の新藤様、阪本様にも御参加いただき、盛大な懇親会となりました。甲斐野会長のご挨拶で懇親会がはじまり、続いて埼玉県鍍金工業組合 黒澤副理事長よりご祝辞を頂きました。時間が過ぎるのは早く、19時から始まった懇親会も瞬く間に終わりに近づき、参加者全員で集合写真を撮り懇親会が終了致しました。

また本年度は会員に変更があり、(株)三進製作所 吉村氏、(株)タイホー 滝澤氏、加えてオブザーバーにて初参加の(株)ハセベ 浅野氏よりご挨拶いただきました。今後とも宜しく願いいたします。



7月例会

7月例会は、甲斐野新会長最初の通常例会として、7月18日金曜日に大宮ソニックシティビルの会議室にて会員23名と名誉会員仁科俊夫様にもご出席頂きました。

「倒産経験者に学ぶ、失敗しない企業経営」と題し、倒産経験者同士が助け合う倒産者の会「八起会(やおきかい)」設立を呼び掛け、『八起会』の会長で在り、ご自身も倒産経験者の株式会社ノグチプランニング代表、野口誠一様を講師にお招きしました。野口様は、自らの失敗を若き経営者に伝え、同じ思いをする経営者を一人でも減らそうと活動されています。

会社を倒産させることは経営者として最悪の失敗であり、倒産の原因は「不況」「銀行」「政治」等「他人」のせいではなく、経営者自身の経営能力が低い原因である。経営者という人間は、高慢に、能力の過信に陥りやすい。「絶対に会社を倒産させない」という意思をこのような勉強会を薬として「努力して欲しい。そして、薬は使い続けないとすぐに効力が切れてしまうものなので注意が必要で、勉強会で学んだことを、「分かったら、すぐやる」事が大切であり、明日の朝礼の話のネタの為に勉強してはいけません。

しかしながら、経営の失敗は、人生の失敗ではない「倒産する前に、倒産しないようにするために、私に相談して欲しい」最悪の事態が起きても、更に最悪な自殺という道だけは選ばないようにと、ご講義を頂きました。

会員一同、胸に突き刺さる講義内容に、驚きと反省、「絶対に倒産させたくない」という思いから、真剣に話に聞き入り、あっという間に講演終了を迎えてしまいました。

講演終了後、埼玉県産業振興公社「よろず支援拠点」の説明を野口満様よりいただき、講師例会を終了いたしました。

懇親会では会場を大宮「オモプラッタ」にうつし、仁科俊夫様に乾杯の音頭を取って頂き、会員一同、例会での痛い胸の内を語りながら、埼玉会最強の男決定戦アームレスリング大会でうっぷんを晴らし、大いに盛り上がりました。

「絶対に会社を倒産させない」と会員一同心に決め、渡邊順一直前会長の中締めにより懇親会を終了しました。ご参加頂きました会員様に感謝すると共に、今後の会社経営の一助となりますよう願っております。



9月例会

9月19日(金)大宮ソニックシティ5階501号会議室にて、『助成金活用セミナー』と『よろず拠点活用法』と題して講師例会を行いました。

第1部は、助成金活用セミナーと題して、経済産業省 関東経済産業局産業部 中小企業課課長補佐 佐藤深幸(さとうみゆき)様より助成金活用について講演を行って頂きました。自社に合った助成金の見つけ方など解りやすく説明いただき、会員も熱心に聞き入っていました。

第2部は今回の助成金活用セミナー講習の講師を紹介して頂きました公益財団法人埼玉県産業振興公社企画支援部 埼玉県よろず拠点コーディネーター 野口満様ならびに企画支援グループ 大谷様より、よろず拠点の活用について講演いただきました。

埼玉県よろず拠点とは、県内工業、商業、サービス業等の事業者様に対して新商品やサービスの開発から販売販路の開拓まで、経営上のあらゆる悩みの内容を無料でアドバイスしていただける事業で、相談については中小企業支援に特に優れた能力・知見・実績を有する専門コーディネーター11名が対応しています。

講習会終了後『魚民 大宮西口駅前店』へ移動し、先生方を交え活発な意見交換及び、交流を深め9月講師例会を終了しました。



ご興味のある方は
埼玉県よろず拠点事務局までご連絡ください。
ホームページ
<http://www.saitama-j.or.jp/kikaku/yorozu/>

10月例会



東群埼 青年部合同ゴルフコンペ2014 順位表

組別	南一東コース			
1	甲斐野 高広 埼玉	人江 邦雄 群馬	梅田 吉男 東京	田口 幹一 埼玉
2	梅原 智弘 埼玉	大野 健仁 群馬	坂本 謙介 埼玉	大田 真志 埼玉
3	田中 知雄 埼玉	藤沼 舞船 群馬	石野 恭史 埼玉	吉津 祐人 埼玉
4	岡田 幹一 埼玉	井上 和浩 埼玉	山内 晋夫 群馬	吉野 晋也 群馬

組別	東一西コース			
5	栗塚 功治 埼玉	仲田 晋人 群馬	鈴木 康雄 東京	種代 次郎 群馬
6	吉田 幸司 埼玉	堀口 幹一 群馬	矢沢 健 埼玉	三井 和宏 埼玉
7	藤川 健雄 埼玉	神保 敬大 埼玉	小林 道明 埼玉	堀口 慶文 群馬

今年は見玉カントリークラブにて、「東群埼ゴルフコンペ」を開催いたしました。前回同様、東京・群馬青年部の皆様に御参加頂き、総勢7組28名での開催となりました。

当日は、天候に恵まれ、穏やかな日差しの中でのゴルフコンペとなりました。参加者全員が和気藹々とした雰囲気の中でプレー出来たのではないのでしょうか。

また、参加者全員がプレーしながらゴルフの話以外にも表面処理業界の現況や、各県の仕事の稼動状況などの情報交換も活発に行なわれていたように思います。参加メンバーにとっては、とても有意義な時間となったような気がします。

プレー後には、クラブハウス内のパーティールームで表彰式が行なわれ、ちょっとした料理とソフトドリンクを囲いながら同じ組でプレーできなかった方々とも親睦が深められたのではないのでしょうか。

優勝は群馬県の入江様(株光陽)、準優勝は東京の梅田様(株梅田製作所)、3位に埼玉県のと田口様(株鍍研)という結果でした。



11月視察研修例会

『岡山 オーエム産業株式会社視察及び
中国表面処理工業組合青年部との交流会』

開催日：2014年11月8日(土)～9日(日)

まず一日目は、吉田さんとも知己である難波圭太郎さんのご厚意でオーエム産業株式会社を見学させていただくことになりました。

オーエム産業株式会社は1943年に日興電化工業(株)として創業した老舗中の老舗の工場であり、関東圏では栃木県にも工場を設立しています。

見学ではめっき作業を行う工場はもちろんのこと、一般的なめっきの工場ではあまりない、自社によるめっきの改良、改善等を行うための研究施設も見させていただき、設備の規模、さらにはそれらを実現させるための考え方の方針や理念等、実に学ぶところが多くありました。

さらにその夜、広島にて中国表面処理工業組合青年部との交流会を行い、親睦を深めてきました。残念ながら新谷会長とはお会いできませんでしたが、藤田副会長や木下副会長をはじめ青年部の方々はバイタリティがあり、話し合いが進むにつれ仕事へ対しての姿勢や思いなどの熱が伝わり、大変刺激になりました。

二日目は、広島にて原爆ドームで厳島神社を見て回り、日本の歴史の一部を垣間見してきました。

思い切り勉強し、思い切り遊ぶという埼鍍会の理念が如実に出た二日間だったと思います。

今後、機会があればまたこのような企画をしていきたいと思えます。



12月例会

12月情報交換会

日頃の会員・関係各社のご協力により、本会も順調に事業・会運営を進められ、甲斐野会長の1年目も、無事世間並に年末を迎えることが出来ました。

会員相互の親睦と慰労、都内経済状況の確認と体験の大義名分のもと、徐々に恒例化してきました都内例会開催を本年も去る12月12日(金)に、華やぐ六本木に於いて開催致しました。

アベノミクスによる恩恵を、なかなか実感出来ないものの、経済を取り巻く雰囲気は、確実に騒がしくなっており、実益はまだまだ確実性のあるものではありませんが、年末の大盤振る舞い、世間体に甘えながらも夜の六本木を参加会員で体験致しました。

年末の繁忙の折、18名の会員様にご参加頂き、各社の景気動向を伺い、補助金、規制等の情報交換、ベテラン会員からの若手会員への苦労話から今後の世代交代へと、酒席ならではの裏表の無い会話が弾み、講師招聘の例会とは異なる有意義な時間を過ごすことが出来ました。

また、社会勉強の一環として時代に逆行するかのような都内繁華街の賑わいを体験し、明日への活力、接待・交際の実地体験、終電確保の大切さなど、参加会員様にはささやかながら何かしらの勉強ができたものと思います。

次年度も、活気ある例会が開催できるよう、さらに埼鍍会を有意義な会として盛り上げられるよう活力を得ることができました。

参加会員の皆様には、遠路不慣れな場所での開催にもかかわらず、ご参加頂きましたことに感謝致します。



新春賀詞交歓会

2月に入りおおかたの会合で賀詞交歓会を終えたところで埼玉県鍍金工業組合青年部・埼玉鍍金は例年賀詞交歓会を行っております。各団体の景気動向を踏まえつつ、各地で収集した情報を共有するには絶好の機会となっています。

今回は、埼玉県鍍金工業組合より吉田副理事長をお招きして、会長以下会員27名の参加があり盛大に賑々しく定刻から遅れることなく開会となりました。

初めに甲斐野会長から「景気動向が苦しく先の見通しが厳しい中でも我々若手が元気に活動していくことが大切である」と会員を鼓舞させる挨拶で場が和み、来賓を代表して吉田副理事長より「トヨタなど大企業が行う横暴とも言えるような発注は国が監視し、中小企業を守る政策を取るようなので稼業を頑張ってください」と賀詞交歓会らしく前向きな挨拶が続きました。

参加者の気持ちが高まったところでの歓談が始まると、お座敷の会場ということで各自の席から離れあちらこちらで塊を作って日頃の悩みや昨年から今年にかけての状況などを話している姿は同業者ながら仲間として心強く感じました。



ひと段落着いたところで、近年恒例となつてまいりました「埼玉鍍金会ルールによるビンゴ大会」が始まりました。埼玉鍍金会ルールは、3×3マスの自カードに1~26から9個の数字を自分でマス目に記入します。たとえビンゴが揃ったとしても、もらえる景品はくじ引きとなり「2段階の運を自ら引き当てる」ルールとしています。

新春の運試しと開催をしておりますが、今年はビンゴまで「あとひとつ!」で足踏みをするメンバーが多く、景気回復も「あとひとつ!」を乗り越えればという予感がしております。景品にはちょっとお高めなお酒や会社で使えるヒーターやタブレット、家族に還元できる商品などをくじ引きで引いた後のメンバーの表情を見るのも楽しみのひとつとなっています。今年は数名から協賛品の差し入れがあったので、ビンゴ全部抜きを達成したら貰えたり、ディズニーランド・チケットが当選者から放出しますということで、全員でジャンケン大会が急遽行われたりと企画以上に盛り上がるゲームになり新春のおめでたい会にふさわしく笑顔に溢れる賀詞交歓会となりました。

現在、埼玉鍍金会は会友・会員合わせて41名の加盟をいただいております。全国的にみても青年部活動が活発な代表格とされています。それは何故か?を内部にいて感じることに、先輩方が生み出した素晴らしい伝統を絶え間なく引き継いできたこと、その時代に合った方針を柔軟に対応できること、個々が発信するメッセージに共感して実行させてゆく結束力があること、そして何よりもメンバー同士の仲が良いことがあげられるのではと感じています。我々中小企業の事業者は、会社に戻れば孤軍奮闘という立場で悩み、苦しむことが多いですが、相談ができる先輩や背中を押してくれる朋輩、頼りにしてくる後輩という存在が埼玉鍍金会という存在理由なのだと感じる夜となりました。



第3回 めっき業界の未来を担う 若手の集い

平成27年3月6日(金) 19:00より、第3回となる鍍金業界「未来を担う若手の集い」が大阪道頓堀界限、かに道楽網元別館にて盛大に開催され、組合青年部埼鍍会からは有志8名が参加しました。

参加者は全国から集まった業界の若手経営者・後継者80名、当日はご来賓として全鍍連より栗原会長も駆けつけ、地元大阪からは30名近くが参加と非常に力を入れられている様子が伝わってきました。

主催者代表として青研会会長 菅野氏の挨拶の後、青研会顧問・大阪府鍍金工業組合理事長 長坂氏による乾杯の音頭がとられ、非常に賑やかな雰囲気になり、その後は若者同士の活発な情報交換・懇談の場となりました。

まずはくじ引きで決められた席に着席し、お近くの方との名刺交換に始まり美味しい蟹料理に舌鼓を打ちながらお酒を伴っての情報交換の後、テーブルを移動しながら積極的に交流が行われ、各県の様々な業態のめっき業者様の近況を伺うことができ、景気動向の話題では昨年と比べると景気の回復を感じられる話が増えて来たような感触です。

会中の各組合団体紹介に於いては、各団体様毎に特色ある活動紹介が行われましたが、中でも埼鍍会はこの会の名物となるような元気のよい挨拶と紹介で会場中の注目を集めておりました。また、当組合の有志が主催となり、事前に東日本有志での集まりが開かれる等、若手同士の交流において主導的な立場で全国規模の若手ネットワークを築き上げようと地道な努力を続けております。

2時間の予定時間は瞬く間に過ぎ、非常に和やか且つ活気ある雰囲気の中、青研会副会長 近藤氏の締めのご挨拶で散会となりました。3回目ともなりますと、常連の参加者同士での独自のネットワークも出来始め、一部の参加者はこの2時間では飽きたらず、二次会、三次会と交流を深め空が明るくなる時間までこれからの業界について熱く語り合ったようです。

昨年度に比べると、少しずつではあるが「先の話」が来ているようで会の賑やかさ、参加された皆様の顔の明るさが違ってきているように思えます。消費税増税、円安に伴う原材料費の高騰、再現のないエネルギー費の高騰、年々厳しくなる環境規制と不安材料を挙げればきりがありませんが、これだけの人数が遠隔地から一か所に集まってくる鍍金業界の若手です。正に「日本の力 めっきの力」というスローガンの通り、若手世代から日本のものづくりをリードし未来を明るくしていく気概でそれぞれの立場で日本経済を良い方向に導いていくのではと思います。



平成26年度 定期総会

日にち 6月14日(土)
会 場 料亭旅館 新道山家
懇親会 料亭旅館 新道山家

7月例会「倒産経験者に学ぶ、失敗しない企業経営」

日にち 7月18日(金)
会 場 大宮ソニックシティ会議室
懇親会 大宮「オモプラッタ」 【担当幹事】 眞 子・岡 田

9月例会「助成金活用セミナー」・「よろず拠点活用法」

日にち 9月19日(金)
会 場 大宮ソニックシティ会議室
懇親会 魚民 大宮西口駅前店 【担当幹事】 石 田・田 中

10月例会「東群埼玉ゴルフコンペ」

日にち 10月18日(土)
会 場 児玉カントリークラブ
懇親会 クラブハウス内パーティールーム 【担当幹事】 饗 場・佐 藤

11月視察研修例会 岡山 「オーエム産業株式会社視察及び中国表面処理工業組合青年部との交流会」

日にち 11月8日(土)～9日(日)
会 場 岡山
懇親会 岡山 【担当幹事】 吉 田・矢 沢

12月例会「情報交換会」

日にち 12月12日(金)
会 場 六本木
懇親会 六本木 【担当幹事】 小 林(直)・瀬 野

2月賀詞交歓会

日にち 2月6日(金)
会 場 料亭旅館 新道山家
懇親会 料亭旅館 新道山家 【担当幹事】 饗 場・眞 子

第3回めつき業界の未来を担う若手の集い

日にち 3月6日(金)
会 場 大阪道頓堀 かに道楽網元別館
懇親会 大阪道頓堀 かに道楽網元別館 【担当幹事】 山 本・遠 山

【編 集】 矢沢 健 佐藤 智弘

埼玉県鍍金工業組合 青年部

埼玉鍍金会

発行日 2015年5月20日
発行所 埼玉県鍍金工業組合青年部
埼玉鍍金会

発行人 埼玉鍍金会会長 甲斐野 嘉彦
編集人 佐藤 智弘・矢沢 健
